科目名：ヘルスアセスメント論	必修	1単位(45時間)
(Health Assessment)		

履修年次/時期：1年次　後期　　授業形態：講義,演習

主担当教員：飯塚 雅子

主担当教員詳細：実務経験 看護師6年7か月：実務経験より、学生が患者の現状や緊急性の有無を判断し、必要な看護ケアを正しく判断することができるよう授業を行う。

担当教員名：永井 朋子, 北村 容子

学修目的

対象の健康状態を身体的・精神(心理)的・社会的な視点から総合的に査定するヘルスアセスメントについて学修する。さらには、人体の構造と機能に関する理解を基に、フィジカルイグザミネーションによる情報収集の方法や収集した情報の判断について検討する。

関連するCP：CP2,CP3,CP4　　科目No. KNz-131

この科目が目的としているDP

1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
	(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
	(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
	(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
	(2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
	(3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○

◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP
○：この講義・演習・実習と関連があるDP

到達目標

①看護におけるヘルスアセスメントの位置づけを述べることができる。
②フィジカルアセスメントに必要な基本技術について説明できる。
③フィジカルイグザミネーションで得られた情報についてアセスメントすることができる。

授業概要

症状や徴候から、実際に起きている状態を判断するために必要となる基本的な技術(問診、視診、聴診、触診、打診)を学ぶ。それらの技術から得た情報を統合し、必要な援助について考え抜く力を身につける。

評価方法

筆記試験 80点 、技術テスト10点、課題10点とし、詳細は授業内で提示する。
試験に対するフィードバックは掲示で行う。

予習・復習時間

【予習】0.5時間
【復習】0.5時間

教科書

系統看護学講座 基礎看護学② 基礎看護技術 I 医学書院
系統看護学講座 基礎看護学④ 臨床看護総論 医学書院

参考書

棚橋泰之(2025)看護過程実践ガイド第8版
棚橋泰之・飯塚雅子(2025)看護過程実践ガイド別冊版 SEPARATE VOLUME
医療情報科学研究所(2019)看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント メディックメディア
山内豊明(2011)フィジカルアセスメントガイドブック?目と手と耳でここまでわかる 医学書院

ｵﾌｨｽｱﾜｰ連絡先

飯塚 雅子　3号館3階研究室　iizuka.masako@kdu.ac.jp　不在時はメールでお願いします
北村 容子　3号館3階共同研究室　y.kitamura@kdu.ac.jp　同上

実施回	第1回	実施日	2026/09/11 (金)	時限	2	班	
授業計画	科目ガイダンス ヘルスアセスメントの基本 ①ヘルスアセスメントの意義と目的がわかる。 ②フィジカルアセスメントの基本技術である視診、触診、打診、聴診の技術がわかる。 ③フィジカルアセスメントの進め方がわかる。	予習	基礎看護技術Ⅰ第4章A・B・C①②を読み、分からない言葉を調べておく。				
		復習	講義内容を振り返る。				
		キーワード	看護におけるフィジカルアセスメントの意義、問診の基本、身体診察(視診、触診、聴診、打診)の基本				
授業形態	講義	担当	飯塚				

実施回	第2回	実施日	2026/09/18 (金)	時限	1	班	
授業計画	バイタルサインの観察とアセスメント(1) ①バイタルサインの測定・評価を行う意義がわかる。 ②体温の正しい測定方法、評価がわかる。 ③脈拍の正しい触診方法、評価がわかる。 ④呼吸の正しい観察方法、評価がわかる。	予習	基礎看護技術Ⅰ第4章C③を読み、既習した呼吸の解剖生理学と合わせて整理しておく。				
		復習	講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。				
		キーワード	バイタルサインの観察、ホメオスタシス、変動因子、体温、脈拍、呼吸、経皮的動脈血酸素飽和度、動脈血酸素飽和度				
授業形態	講義	担当	○飯塚, 北村				

実施回	第3回	実施日	2026/09/18 (金)	時限	2	班	
授業計画	バイタルサインの観察とアセスメント(2) ①血圧の正しい測定方法、評価がわかる。 ②意識状態の正しい観察方法がわかる。	予習	基礎看護技術Ⅰ第4章C③を読み、心臓の解剖生理学と合わせて整理しておく。				
		復習	講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。				
		キーワード	収縮期血圧、拡張期血圧、触診法、聴診法、意識レベルの評価				
授業形態	講義	担当	○飯塚, 北村				

実施回	第4回	実施日	2026/09/25 (金)	時限	2	班	
授業計画	バイタルサインの観察とアセスメント(3) 【バイタルサイン測定①】 ①基本的なバイタルサイン測定の方法を習得する。	予習	作成した課題と関連する動画を視聴し、演習のイメージをしておく。				
		復習	演習内容を振り返る。バイタルサイン測定の練習をする。				
		キーワード	バイタルサイン測定				
授業形態	演習	担当	○飯塚, 北村, 永井				

実施回	第5回	実施日	2026/10/02 (金)	時限	3	班	
授業計画	計測 ①ヘルスアセスメントにおける計測の目的がわかる。 ②計測を行うにあたっての留意事項がわかる。 ③計測の方法がわかる。	予習	基礎看護技術Ⅰ第4章C④を読み、分らない言葉を調べておく。				
		復習	講義内容を振り返る。				
		キーワード	計測、身長、体重、皮下脂肪厚、腹囲、体格指数、肥満、やせ、BMI				
授業形態	講義	担当	飯塚				

実施回	第6回	実施日	2026/10/09 (金)	時限	1	班	
授業計画	バイタルサインの観察とアセスメント(4) 【血圧測定の技術テスト】 ①基本的なバイタルサイン測定の方法を習得する。	予習	作成した課題と関連する動画を視聴し、演習のイメージをしておく。				
		復習	演習内容を振り返る。バイタルサイン測定の練習をする。				
		キーワード	バイタルサイン測定				
授業形態	演習	担当	○飯塚, 北村, 永井				

実施回	第7回	実施日	2026/10/16 (金)	時限	3	班	
授業計画	系統別フィジカルアセスメント－呼吸器系(1) ①肺の構造と機能について説明できる。 ②胸部の視診・触診・打診の方法が分かる。 ③呼吸が正常に行われているか判断できる。	予習	基礎看護技術Ⅰ第4章D②、臨床看護総論第3章Aを読み、分らない言葉を調べておく。				
		復習	講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。				

		キーワード	胸骨角、第2肋骨、鎖骨中線、肩甲下角、チアノーゼ、ばち状指、換気、ガス交換、胸郭、気管、音声伝導（触診振盪音）、横隔膜、胸壁、右肺、左肺
授業形態	講義,演習	担当	○飯塚，北村，永井

実施回	第8回	実施日	2026/10/16（金）	時限	4	班	
授業計画	系統別フィジカルアセスメント－呼吸器系（2） ①異常呼吸音の性質がわかる。 ②異常呼吸音と正常呼吸音の種類が判断できる。 ③聴診の原則に沿って呼吸の聴診ができる。	予習	基礎看護技術Ⅰ第4章D②を読み、既習した肺の構造と機能を整理しておく。				
		復習	講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。シミュレーターを使って、聴診の練習をする。				
		キーワード	呼吸状態の観察、副雑音、正常呼吸音、呼気、吸気、呼吸音聴取の原則				
授業形態	講義	担当	○飯塚，北村，永井				

実施回	第9回	実施日	2026/10/30（金）	時限	1	班	
授業計画	系統別フィジカルアセスメント－循環器系（1） ①心臓の構造と機能が説明できる。 ②循環系の自覚症状の観察ができる。 ②末梢循環不全の評価方法がわかる。 ③心臓の大きさを推定する方法がわかる。 ④頸静脈のアセスメントし異常を推定することができる。	予習	基礎看護技術Ⅰ第4章D③を読み、既習した心臓の構造と機能を整理しておく。				
		復習	講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。				
		キーワード	動脈・静脈の循環、胸痛、動悸、浮腫、チアノーゼ、心臓の拡大、中心静脈圧、心尖拍動				
授業形態	講義	担当	飯塚				

実施回	第10回	実施日	2026/10/30（金）	時限	2	班	
授業計画	系統別フィジカルアセスメント－循環器系（2） ①心音の聴取部位と方法がわかる。 ②心音の正常・異常がわかる。	予習	基礎看護技術Ⅰ第4章D③を読み、既習した心臓の構造と機能を整理しておく。				
		復習	講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。				
		キーワード	Ⅰ音、Ⅱ音、大動脈弁領域、肺動脈弁領域、三尖弁領域、僧帽弁領域、エルプ領域、心雑音、過剰心音				
授業形態	講義	担当	飯塚				

実施回	第11回	実施日	2026/11/20（金）	時限	3	班	
授業計画	系統別フィジカルアセスメント?腹部・感覚器（口）/消化器系 ①口腔内の観察ができる。 ②咀嚼と咽頭反射の評価方法がわかる。 ③腹部臓器の構造と機能が説明できる。 ④腹部の視診・聴診・打診・触診の方法がわかる。 ⑤腸蠕動音の正常・異常がわかる。	予習	基礎看護技術Ⅰ第4章D⑤ ⑧を読み、既習した口腔内/嚥下・咀嚼/腹部臓器に関する構造と機能を整理しておく。				
		復習	講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。				
		キーワード	食物摂取、4区分法、9区分法、腸蠕動音聴取、腹水、波動、圧痛点				
授業形態	講義	担当	飯塚				

実施回	第12回	実施日	2026/11/24（火）	時限	3	班	
授業計画	系統別フィジカルアセスメント－筋・骨格系 ①各関節の運動の方向がわかる。 ②関節可動域の測定方法がわかる。 ③筋力の測定方法とその等級わかる。 ④小脳機能・平衡機能の評価方法がわかる。	予習	基礎看護技術Ⅰ第4章D⑥を読み、筋・骨格系解剖生理学と合わせて整理しておく。				
		復習	講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。				
		キーワード	運動機能の観察、外転、内転、屈曲、伸展、外旋、内旋、回内、回外、ROM、MMT、指鼻試験、ロンベルグ試験				
授業形態	講義	担当	飯塚				

実施回	第13回	実施日	2026/11/24（火）	時限	4	班	
授業計画	系統別フィジカルアセスメント－神経系 ①意識状態の評価方法がわかる。 ②対光反射と瞳孔径の観察方法がわかる。 ③高次脳機能の評価方法がわかる。	予習	基礎看護技術Ⅰ第4章D⑦を読み、分らない言葉を調べておく。				
		復習	講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。				
		キーワード	JCS、GCS、バレー徴候、腱反射、バビンスキー徴候、対光反射、瞳孔不同、認知症、失語				
授業形態	講義	担当	飯塚				

実施回	第14回	実施日	2026/11/27（金）	時限	2	班	

授業計画	循環器系、消化器系、神経系のフィジカルアセスメント 【心音・腸蠕動音の聴取、瞳孔径と対光反射の観察】 ①心音を正しい部位で聴取できる。 ②腸蠕動音を正しい部位で聴取できる。 ③瞳孔径と対光反射が正しく観察できる。	予　習	作成した課題を見直し、関連する動画を視聴し演習のイメージをしておく。
		復　習	演習内容を振り返る。
		キーワード	心音、腸蠕動音、瞳孔径、対光反射
授業形態	演習	担当	○飯塚，北村，永井

実 施 回	第15回	実　施　日	2026/12/04 (金)	時限	2	班	
授業計画	系統別フィジカルアセスメントー感覚器(眼・耳)、外皮系(皮膚・爪) ①眼球の評価方法がわかる。 ②視力・視野のスクリーニング方法がわかる。 ③聴力のスクリーニングの方法がわかる。 ④痛覚・触覚、振動覚の評価方法がわかる。	予　習	基礎看護技術Ⅰ第4章D⑧ ⑨を読み、分らない言葉を調べておく。				
		復　習	講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。				
		キーワード	眼位、眼振、視野欠損、リンネテスト、ウェーバーテスト、皮膚知覚、深部知覚				
授業形態	講義	担当	飯塚				